

我孫子市消費者の会

お知らせ

2012年2月15日 第37期 No. 11-428号
事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434
<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.com/>

消費生活展終了

3. 11大震災 その後あなたは？

何と言っても市民への啓発活動最大の行事が消費生活展です。今年は37回目でした。

大震災と原発事故を経験しての今回の生活展は、各団体とも、今後の生活への提案に満ちていました。2度と原発事故を起こさないために、ほとんどの方が節電、発電の工夫を語ってくださいました。そして皆さんとても参考になったと、好評をいただきました。

「後を断たない悪質商法」には、寸劇で手口を知っていただきました。ハイハイ商法の詐欺師佐佐木さんの熱演、飛び入りの大先生、石けん利用推進協議会の山本さんの説得力のある演技に会場からは拍手をいただきました。

放射線測定器を借りて展示もしました。会員が測った自宅付近の数値も地図で表示し、これをきっかけに来場者と会話が出来ました。

エコグッズのコーナー、子どもの遊びコーナーもホッとできる空間でした。

2日間で計700名を超すお客様を迎えることが出来ました。受付をはじめ様々な場所で、消費者の会の方々の協力無しには生活展は成り立たない程です。皆様の活躍に感謝します。

バス見学会のお誘い

先月バスを借りられた日だけお伝えしましたが、見学先のOKが出ました。見学先は千葉大学植物工場と我孫子市のクリーンセンターです。

千葉大の植物工場は、柏の葉キャンパスにあり、レタスとトマトの栽培実験をしています。ハウスの中で、化学肥料を使つての栽培ですが、実際に見てみましょう。

我孫子市クリーンセンターは今、大変苦労して私たちの生活を支えています。今回は焼却炉ではなく、リサイクルの現場と生ごみの処理現場を見せていただくことになりました。

日時 3月12日(月) 10時00分出発

ふれあい広場

11時から1時間30分千葉大 300円

14時30分からクリーンセンター

昼食はララポート柏の葉の中で各自で取ってください。

我孫子着16時30分の予定。

是非お誘い合わせご参加ください。3月の定例会までにお申し込みを、和田へ。

3月定例会

日時 3月5日(月) 13:30~16:00

会場 我孫子南近隣センター 8階調理室

先月見られなかったDVD「追跡！真相ファイル 低線量被ばく・揺らぐ国際基準」を見ます。また、新年度の体制についても相談します。多数お集まりください。

4月定例会の予告

日時 4月2日(月) 13:30~16:00

会場 我孫子南近隣センター 8階調理室



1月のバス見学会の報告

キューピー(株)五霞工場と、(株)エフピコ関東リサイクル工場を見学しました。キューピーの感想を加藤マリ子さんに書いていただきました。

①「キューピーマヨネーズ五霞工場の見学」

はじめに会社の説明ビデオを見てから、クリーム色の清潔な通路を歩いて工場見学の開始。

次々に入って来る卵は、黄身だけになり漏斗状の容器の中に入ってベルトコンベアをどんどん流れていきます。最初は、一体どこで卵が割られているのか全くわかりませんでした。それもそのはず。卵の下から金属を当ててヒビを入れ、左右に開き、卵を容器に落とすのです。容器は少し傾き、一部がV字にカットされているので、そこから白身が流れ出て、黄身だけが残るといいう仕組みです。

1分間に600個の卵を割るといいうこの仕組みを考案したことに私は興味津々。こんな仕組みを子ども達に知らせたら、発明工夫をしたくなるだろうなあと思った次第です。2時間毎に洗浄をするそうです。

卵黄はマヨネーズに。卵白はお菓子やかまぼこなどに。殻はカルシウム強化食品や肥料、建築材料にも。卵殻膜は化粧品やうまみ調味料に。卵の全てが無駄なく使用されます。

容器の多重構造、切りくずが入らないように口部のカットは逆さにするなどの工夫も沢山ありました。また、ベルトコンベアが動くと同時にかわいいキューピーがくるくる回り、見学者の目を楽しませてくれました。

そのキューピーが動かなくなる場面もありましたが、帰りには赤い網目模様のマヨネーズが箱詰めされるまでをしっかりと見ることができました。同じ敷地内にお酢の工場があり、経済的な追求もみごとだと感心しきり。

最後の豊富な種類のドレッシングの試食は、次の昼食に響くと思ったのですが・・・。

②「エフピコ関東リサイクル工場」

エフピコは食品用のトレーを作っている会社です。この工場では回収したトレーを原料のペレットにするまでを担当しています。

まず、集まったトレーを白と色物に分けます。ここに、知的障害のある人が働いています。3人に1人の健常者の目配りは必要ですが、この

人達はとても真面目に働いていました。休憩を定期的に取らせないと、働き詰めに働くと言うことでした。

風力でゴムなどの異物を取り除き、大まかにカット。1次洗浄(水も浄化して再利用)。2次洗浄、すすぎ、脱水、2次破碎し、ペレット(トレーの原料)にするまでがこの工場でした。

他の工場でトレーになります。できたトレーにはエコマークがついています。

何より、知的障害者の雇用がしっかりしていることに感心し、実現した会社の考え方に感謝。

歴史的なことを考えると、スーパーストアが出来てトレーが多く使われるようになり、1度使っただけで捨ててしまうことに消費者から批判が出たとき、いち早くリサイクルに取り組んだ会社がエフピコでした。どうやってリサイクルするのかを見に行ったのが始まりで、生活展で古紙のリサイクルなどと一緒に取り上げたことがありました。記録を調べてみたら、見学は今回で3回目。丁度10年ごとに訪ねていました。

市によってはトレーだけを回収してエフピコへ直接届けているところがありました。我孫子では「その他プラ」で集めた物は富津の会社で運搬用の板(パレット)に作られています。

私たちは前からトレーはスーパーのトレー回収ボックスへ返すよう呼びかけてきました。これは是非、お願いします。

案内して下さった方は、色物が多くなって、リサイクルもしづらくなっている(色物は黒にするしかない)と言われました。これは消費者が求めているのではなく、売り手の側の、高級に見せたいという思惑だろうと思います。でも、どこかで発言していかなくてはならないとも思いました。(和田記)

消費生活展の冊子を配布します

消費生活展の冊子をいただきましたので、配布します。既にもらった方は、友人等にどうぞ。

エスケー石鹸の新聞記事

読売新聞に載った記事を裏面にコピーします。エスケー石鹸が子ども達の教育に一役買っています。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～
いつまでも続く寒さ、温暖化の影響だとか。北

極の氷が溶けて北半球を冷やすのだそうです。